

第5学年 算数科学習指導案

1 日時・場所 令和8年(2026年) 10月9日(金) 14:00～14:45 5年3組教室

2 単元名 「ならした大きさを考えよう」

3 本授業の提案

本単元は、平均を求める方法を平均の意味と関連づけて理解するとともに、平均の考えを他教科や日常生活で活用しようという態度なども育てることをねらいとしている。

本学年は、算数科において苦手意識を持つ児童が多く、九九から始める児童、わからないままにする児童、一人で問題に取り組めずに手が止まる児童、教員や友達に考えを聞くことで取り組める児童が多数いる。本単元は、既習した計算法でできることや数が1桁や2桁と少ないことから、まず、計算で躓く児童が少ないのではないかと考える。また、日常生活に関わる内容は前のめりに聞く傾向があるため、今後の生活や学習に活用できる「平均」を単元を選んだ。ゲーム性があるものや興味のあるものが問題に出てくると積極的に参加することができるため、本単元は教科書問題ではなく、各学級に合った興味関心のある問題(カブトムシ、紙飛行機、スーパーボールすくい)に変更することで、「やってみたい」と積極的に参加する姿を目指す。

4 現状の児童の様子と手立て

気になる子の困りと今の姿

- ・「めんどくさい」「わからない」と思った途端、一人で学習に取り組めなくなる。
- ・一人で考えるよりも誰かと一緒に課題に取り組むほうが積極的に参加できる児童が多い。
- ・興味のある内容や具体物を操作することは全員が積極的に参加できる。

授業での具体的方策

- 【手立て①】興味のある内容や具体物を操作することで楽しい!学びたい!と思うのではと考える。
- 【手立て②】本単元では、既習した計算法でできるが、数字が並ぶため消極的参加の児童には電卓を使用する。また、考えをすぐに書けるように板書お助けカードを選択させる。
- 【手立て③】活発的に話し合い活動を行うために、自分たちが安心できる座席で班活動を取り入れる。

期待する姿

- ・授業に参加できる。
- ・自ら学ぼうと意欲的に取り組んでいる。
- ・「わからない」ままにせず、隣の児童や教員に聞くことができる。また、教えることができる。

5 単元指導計画(全 7時間 本時 3/ 7時)

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性
平均の意味について理解するとともに、測定した結果の平均を求めることができる。	概括的にとらえることに着目して、測定した結果を平均する方法や平均から全体量を求める方法を図や式などを用いて考え表現する。	平均の意味や測定した結果を平均する方法を、図や式などを用いて考えや結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
第1時【1組本時】	平均の意味と求め方について理解する。	
第2時	平均から全体量を求める方法を、平均の意味や図を基にして考え、説明することができる。	
第3時【3組本時】	値に0がある場合の平均の求め方や分離量でも平均は小数で表す場合があることを理解する。	
第4時	より信頼できる値を得るために、測定値の平均を求める場合があることを理解する。	
第5時【2組本時】	いくつかの数値があって、その中に飛び離れた値がある場合に、目的によってはその値を除いて平均を求める場合があることを理解する。	
第6時	単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。	
第7時	学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。	

6 本時の目標（ 3 / 7時）

- ・平均を求めるときは0を含めて考えることや、分離量であっても平均が小数になる場合があることを知る。

7. 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項・手立て
1. 前時ふりかえり 2. 問題提示 ・スーパーボールすくいので1すくい目から5すくい目までの重さの平均を求める。 ・2人目までは前時の復習として、合計÷個数で求めることがわかる。 ・3人目の4すくい目に注目し、値に0があることに気づく。	・平均＝合計÷個数で求めたことを確認する ・問題の意味を理解し、何を求めるかを確認する。 【手立て①興味のある内容】 ・値に0があることを確認する。 ・値に0がある場合どのように計算すればよいかを考える。
めあて 0があるときの平均はどう求める？（児童の言葉から作成）	
3. 課題解決 ・0を個数にふくめるかふくめないかをペアや班で考え、納得して答えを求める。 ・0を個数にふくめて平均を出すことがわかる。	・0を個数に含めて平均を出すか考える。 【手立て②電卓】 ・自分で考えたことをペアや班で共有し、0を個数に含めて計算することを確認する。 【手立て③班活動】 ・ノートに書くことが難しい児童には板書お助けカードを選択させる。 【手立て②お助けカード】
まとめ 0を個数にふくめて平均を出す。（児童の言葉から作成）	
4. 練習問題 ・6問ある練習問題を解き、0をふくめて計算することを身につける。	【手立て①】【手立て②】【手立て③】 ・平均は均等にならした数なので「点」や「人」が小数になってもよいことを知る。 ・0ではなく、観察できない＝記録にならないことに気づき、0でも計算に入れないことを知る。

授業の視点

☒他者と協働して主体的に取り組む学習活動

☐AI、タブレットを活用した個別最適な学び

☐思考・判断・表現力を育成する言語活動の充実